

県議会 おおいた

No.132

大分県議会
令和5年11月発行

題字は、学校法人 大分高等学校3年 たかはし れいか 高橋 怜花さんの作品です。

豊後大野市立菅尾小学校6年生のみなさん



日田市立三芳小学校6年生のみなさん

県議会では、県内の小・中・高校や、大学等を、議員が訪問し、県議会の仕組みや議員の活動等を説明、児童、生徒や学生と対話する『議員出前講座』を実施しています。

令和5年10月25日(水)には豊後大野市立菅尾小学校と日田市立三芳小学校を訪問しました。『選挙の時、得票数が同じ場合はどうなるの?』『税金の使い道は?』といった子どもたちの質問ひとつひとつに、議員から丁寧に答弁が行われました。

令和5年
第3回 定例会

9月19日から10月4日までの16日間、開催しました。

開会後、元吉議長による諸般の報告に続き、令和5年度大分県一般会計補正予算案等の議案が提出され、佐藤知事が提案理由を説明しました。

9月25日から3日間にわたり行われた一般質問には、12人の議員が登壇し、執行部と活発な議論を行いました。

また、各常任委員会を9月28日、29日の2日間開催し、付託された議案等について審査を行いました。

今定例会では、知事提出議案9件、委員会提出議案1件、議員提出議案4件について可決し、請願1件を採択とし、閉会しました。



各議員名欄にあるQRコードから、そのほかの質問を含めて、動画でご覧いただけます。

一般質問

9月25日(月)



県民クラブ
守永 信幸 議員

公共交通について

東九州新幹線等の計画が本格化すれば、並行在来線について検討しなければならぬが、県内の公共交通の現状と課題について知事の所見を伺います。

県では、地域公共交通計画をもとに、持続可能な交通網の整備に取り組んでいます。

高齢者等移動弱者対策には乗合タクシー等市町村のきめ細かな取組を支援していきます。また、国道の拡幅等による渋滞解消や交通の利便性向上に努めています。

路線バス維持のために、人材確保への支援を進めます。在来線の維持・確保に関しては、地域公共交通活性化再生法による今後の議論を注視していきます。

今後とも利用者のニーズにきめ細かく対応できる公共交通の整備を目指し、市町村や関係者と連携しながら、県としての役割を果たしていきます。

守永議員のこの他の質問については下記から動画をご覧ください。



自由民主党
木付 親次 議員

世界農業遺産について

平成25年に世界農業遺産として認定され10年が経過しますが、この10年を総括し、今後どのような方針で取り組むのか伺います。

世界農業遺産は、児童・生徒が学び、地域への愛着・誇りを持てるよう「次世代への継承」に活用します。また、「地域の元気づくり」として、産品のブランド化につなげたり、地域の魅力の情報発信などに生かします。

国の専門家会議からも高い評価を得ている積極的な情報発信や高校生による「聞き書き」等による教育活動は、主要な事業であり拡充していきます。

今後も過去から受け継いだ循環型農林水産業の仕組みを未来につなげていけるよう、取り組んでいきます。また、PR動画の作成について

も検討します。



国東半島宇佐地域
世界農業遺産
Kunisaki Peninsula Usa GIAHS

木付議員のこの他の質問については下記から動画をご覧ください。



公明党
澤田 友広 議員

不登校生徒に対する多様な学びの場について

不登校特例校やフリースクールなどの不登校生徒の多様な学びの場の整備を進めていくべきと考えますが、見解を伺います。

県及び全市町には、学校以外の居場所として教育支援センターが設置されており、個別の状況に応じた学習支援や体験活動等を行うほか、学校の時間外でも学習できる場として、県内6ヶ所において補充学習教室を実施しています。また、IC

Ｔ学習教材を活用した学習支援などに取り組んでいます。フリースクールの支援についても、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを派遣するほか、担当課が県内全てのフリースクールを訪問し、どのような関りができるか調査しています。

澤田議員のこの他の質問については下記から動画をご覧ください。



自由民主党
中野 哲朗 議員

大雨災害からの復旧について

地元をよく知っている方々の意見が反映され、次の災害に備えられる復旧が大切だと考えますが、どのような方針で復旧や支援に取り組んでいくのか知事の見解を伺います。

今年の梅雨前線による大雨は、本県でも河川や砂防施設を中心に甚大な被害が発生しており、これまで、応急復旧や被災者支援を進めてきたところ

です。県民の安全安心な生活や社会経済活動を下支えする社会インフラの迅速な復旧に努めます。

今回の復旧に当たっても、河道拡幅や護岸のかさ上げなど、再度災害防止に向けた機能強化を図り、県土のさらなる強靱化を進めていきます。

また、被災者の生活再建や農林漁業者、中小企業・小規模事業者等の事業継続に向けた支援を行います。国の生活再建支援制度や独自の支援制度を活用し、住宅の再建や補修を後押しします。

農林水産業では、無利子の特定災害対策緊急資金や商工業への円滑な資金繰り支援、小規模事業者への復旧・復興経費の助成など、今後とも、地元の方々のご意見を伺いながら、復旧や支援にしっかりと取り組んでいきます。

中野議員のこの他の質問については下記から動画をご覧ください。



9月26日(火)



自由民主党
今吉 次郎 議員

宇宙港構想について

本県の産業活力を高めていくためには、宇宙産業への挑戦

に引き続き、取り組んでいく必要がありですが、今後の宇宙構想についての取組を伺います。

大分空港から人工衛星の打ち上げを目指していた、ヴァージン・オービット社が経営破綻しましたが、本県が宇宙港の実現を目指す方針に変わりはなく、シエラ・スペース社、兼松株式会社と新たなパートナーシップを締結しました。

宇宙関連産業の創出や集積も目指しており、引き続き県内企業の挑戦を後押ししていきます。また、国東高校では、来年度から「スペースコース」を新設するなど、宇宙への挑戦を、将来にわたって支えていく人材の育成にも取り組んでいきます。

今吉議員のこの他の質問については下記から動画をご覧ください。



志士の会
末宗 秀雄 議員

人口減少対策について

人口が減少していく状況を劇的に改善することは困難であり、しっかりと施策を打っていく

ことが重要です。

本県の適正人口はどの程度だと考えているのか、また、人口減少対策に今後どのように取り組んでいくのか伺います。

適正人口については、時代背景や社会経済の状況等により、変化するため、一概には言えませんが、生産年齢人口を確保し、人口構造のバランスをとることが重要です。

自然増対策として、若者が希望どおり結婚し、希望する子どもを育てる環境を整えることが重要です。

併せて、若者の定住や県内回帰に向けた社会増の取組を行うなど、若い世代の増加に向け、自然増・社会増の両面から対策を講じます。

現在、新しい長期総合計画策定に向け、高校生へのアンケートを実施しています。若い世代の意見を積極的に取り入れ、市町村と連携して、人口増加対策に取り組みます。

末宗議員のこの他の質問については下記から動画をご覧ください。





自由民主党
おぎはら 小川 克己議員

園芸産地拡大に向けた農地整備について

Q 農業分野の成長産業化、産出額の増加に向けては、園芸産地を拡大していくことが必要です。園芸産地の拡大に向けた農地整備にどう取り組んでいくのか伺います。

A 園芸産地の拡大に向け、次の三つの視点で農地整備を進めています。
一つが、水田畑地化による水田農業の構造改革です。土壌・地下水位調査に基づく、排水対策や土壌改良等の整備を実施します。

二つが、既存畑地の高機能化による生産性の向上です。大野川上流地域では畑地かんがい施設や大区画化を契機に、キャベツ等の一大産地化が進んでいます。三つが、園芸産地づくりに向けた市町村支援体制の強化です。災害復旧における設計書作成や農地整備での土作り等の技術的支援を行っています。

また、2ha以上の樹園地を県営事業で実施し、スピード感のある産地づくりに取り組んでいます。

小川議員のその他の質問については下記から動画をご覧ください。



県民クラブ
おのだら い 御手洗 朋宏議員

教員不足への対応について

Q 全ての教職員が生き生きと働ける職場環境にしていくことが、信頼される学校づくりにつながると考えます。教員不足への対応について伺います。

A 教員不足は全国的な課題であり、本県においても厳しい状況です。教員採用試験の見直し等による受験者の確保や、再任用の促進、臨時講師等の掘り起こしを行っています。
オンライン研修の充実や採点補助システム及び校務支援システムの導入など、勤務時間の縮減に向け様々な取組を行っています。

今後、国の動向を注視し、教員不足の解消や、働き方改革に向け、職場環境の充実を図っていきます。

御手洗議員のその他の質問については下記から動画をご覧ください。



自由民主党
やまだ まさみ 太田 正美議員

9月27日(水)

地域の活力づくりについて

Q コロナ禍が明け、世の中に活気が戻ってきました。今後の地域の活力づくりにもどのように取り組んでいくのか、伺います。

A 県では、振興局職員が地域の活性化につながる案件の掘り起こしを行い、地域活力づくり総合補助金により様々な支援をしています。
地域づくりの人材面では、移住者による地域住民を巻き込んだ活動が広がるなど明るい兆しも見受けられます。地域づくりの財政面では、地域活力づくり総合補助金の「チャレンジ支援枠」等の補助率をかき上げすることで、自己負担の軽減を図っています。

また、現場の声を生かすために「県政ふれあい対話」を実施してきたほか、「新しいおおいた

共創会議」を立ち上げ、市町村長と政策課題の議論を深めています。

太田議員のその他の質問については下記から動画をご覧ください。



県民クラブ
わかやま まさとし 若山 雅敏議員

国道387号の冠水・迂回対策について

Q 国道387号の冠水及び迂回対策について、どのように対応していくのか伺います。

A 7月の国道387号の冠水については、斜面の崩壊により、集水桝が埋塞し、排水が困難となったことが原因であったことから速やかに再発防止対策を行いました。

これまでも地元要望に対し、側溝整備や路肩拡幅等を実施しました。加えて今年度中に、排水能力調査、工法検討を行い、来年度には抜本的な排水対策工事を行う予定です。

迂回対策については、地形上新たな迂回路整備は困難な状況のため、今後も、国道387号の適切な維持管理に努めていきます。

若山議員のこの他の質問については下記から動画をご覧ください。



自由民主党
あらい けんじ
穴見 憲昭 議員

児童相談体制について

Q 児童虐待の防止を含む課題対応に当たって、人材育成・人材確保が重要と考えるが、今後、児童相談体制の充実にどのように取り組んでいくのか伺います。

A 本県の児童相談所における相談対応件数は年々増加しており、昨年度は過去最多となっています。

今年度は児童福祉司を10名、児童心理司を3名増員し計画的な体制強化を図るとともに、専門スキルの習得など人材育成にも努めています。また、昨年4月には、大分市の子ども家庭支援センターの建物内に城崎分室を設置したほか、中央児童相談所での大分市職員の研修も長年行ってきました。

今後とも、大分市との連携を強化し、児童虐待にしっかり対応していきます。

穴見議員のこの他の質問については下記から動画をご覧ください。



自由民主党
みやま けんじ
宮成 公一郎 議員

地域の担い手不足対策について

Q 「まち・ひと・しごと創生大分県総合戦略」の見直しも含め、人口減少対策、さらには地域の担い手不足対策にどのように取り組んでいくのか伺います。

A 地域経済の持続的な発展のために、若者の定住が重要であり、次の三つの取組を進めていきます。

一つ目は、新卒学生の県内就職を促進するために、世界に誇る県内企業を紹介する「大分ものづくり発見ブック」の活用や、高校新卒者を対象とした合同企業説明会を実施します。大学生向けには、オンライン企業説明会やWebマガジン「オオイタカテ」等により、県内企業の魅力を発信し、新卒学生等の県内就職の促進を図っています。

二つ目は、福岡の大学進学者に対して、UIJターンの拠点

施設「dot」において、切れ目のない情報発信や学生に寄り添った就職支援を進め、県内回帰に取り組んでいます。

三つ目は、若者の移住促進対策です。キャリアコンサルタントによる伴走型支援や転職なき移住に取り組むとともに、IT等の資格取得から移住までをサポートするスキルアップ移住などに取り組んでいます。

今後、誰もが安心して住み続けたい大分県づくりに取り組みます。



オオイタカテ!

宮成議員のこの他の質問については下記から動画をご覧ください。



可決された議案（議員提出）

- 意見書（4件）
- ▽私学助成制度の堅持及び拡充強化を求める意見書
- ▽硬膜外自家血注入療法に対する適正な診療上の評価等を求める意見書 ほか

可決された議案（委員会提出）

- 意見書（1件）
- ▽軽油引取税の課税免除措置の継続等を求める意見書

可決された議案（知事提出）

- 予算（2件）
- ▽令和5年度大分県一般会計補正予算（第2号）
- ▽令和5年度大分県港湾施設整備事業特別会計補正予算（第1号）
- 条例関係（3件）
- ▽大分県長者原園地の設置及び管理に関する条例の廃止について
- ▽旅館業法施行条例の一部改正について
- ▽大分県立学校の設置に関する条例の一部改正について
- その他（4件）
- ▽工事委託契約の締結について
- ▽工事請負契約の締結について
- ▽工事請負契約の変更について
- ▽特定事業契約の締結について

常任委員会

総務企画委員会

《委員会の開催状況》

- ・ 9月29日に開催。
(付託を受けた議案)
令和5年度大分県一般会計補正予算(第2号)
- ・ 令和4年度大分県内部統制評価報告書の提出について、大分県長期総合計画の実施状況等について執行部から報告を受けました。

結果概要はコチラ➡



福祉保健生活環境委員会

《委員会の開催状況》

- ・ 9月29日に開催。
(付託を受けた議案)
大分県長者原園地の設置及び管理に関する条例の廃止について
旅館業法施行条例の一部改正について
- ・ 公社等外郭団体の経営状況について、大分県長期総合計画の実施状況等について執行部から報告を受けました。

結果概要はコチラ➡



商工観光労働企業委員会

《委員会の開催状況》

- ・ 9月28日に開催。
(付託を受けた議案)
令和5年度大分県一般会計補正予算(第2号)
(請願)
軽油引取税の課税免除措置に関する意見書の提出について
- ・ 大分県長期総合計画の実施状況について、公社等外郭団体等の経営状況について及び県有地の信託に係る事務の処理状況等について執行部から報告を受けました。

結果概要はコチラ➡



農林水産委員会

《委員会の開催状況》

- ・ 9月29日に開催。
(付託を受けた議案)
令和5年度大分県一般会計補正予算(第2号)
- ・ 大分県長期総合計画の実施状況について、公社等外郭団体の経営状況報告書等について及び佐賀県で発生した豚熱に伴う本県の対応についてなど執行部から報告を受けました。

結果概要はコチラ➡



土木建築委員会

《委員会の開催状況》

- ・ 9月28日に開催。
(付託を受けた議案)
令和5年度大分県一般会計補正予算(第2号)
令和5年度大分県港湾施設整備事業特別会計補正予算(第1号)
工事委託契約の締結について 等
- ・ 令和5年6月30日からの梅雨前線豪雨災害対応の進捗状況について、おおいた土木未来プラン2015の取組状況等について執行部から報告を受けました。

結果概要はコチラ➡



文教警察委員会

《委員会の開催状況》

- ・ 9月28日に開催。
(付託を受けた議案)
令和5年度大分県一般会計補正予算(第2号)
大分県立学校の設置に関する条例の一部改正について
- ・ 自転車用ヘルメットの着用率について、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について等、執行部から報告を受けました。

結果概要はコチラ➡



常任委員会（県外所管事務調査）

総務企画委員会（9月5日～7日）

一般社団法人北海道移住交流促進協議会やニセコ町役場などを訪問し、北海道内の市町村の特色ある移住施策やニセコ町での外国人移住者の状況、移住者の新規就農等について調査しました。

【調査先】

- 『一般社団法人北海道移住交流促進協議会』
- 『ニセコ町役場』
- 『蘭越町役場』



福祉保健生活環境委員会（8月22日～24日）

いばらき出会いサポートセンターやポニースクールかつしかなどを訪問し、茨城県の結婚支援サービスやポニーとのふれあいを通じた障がい児施策、東京都における脱炭素化の計画等について調査しました。

【調査先】

- 『いばらき出会いサポートセンター』
- 『ポニースクールかつしか』
- 『東京都環境局』
- 『一般社団法人アイネット』



商工観光労働企業委員会（8月29日～31日）

SCOP TOYAMAや坐来大分などを訪問し、富山県の旧職員住宅を利用した創業支援センターや坐来大分の来客や情報発信の状況、千葉県におけるカーボンニュートラルの取組等について調査しました。

【調査先】

- 『SCOP TOYAMA』
- 『坐来大分』
- 『千葉県庁』



農林水産委員会（9月5日～7日）

富士ヶ嶺酪農クラスター協議会や富士山朝霧バイオマスプラントなどを訪問し、酪農家やコントラクターで組織する協議会の自給飼料生産拡大の取組、牛ふんによるバイオマス発電等について調査しました。

【調査先】

- 『富士ヶ嶺酪農クラスター協議会』
- 『伊豆漁業協同組合』
- 『富士山朝霧バイオマスプラント』



土木建築委員会（9月4日～6日）

高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所やあちてらす倉敷などを訪問し、平成30年豪雨災害の状況と復旧工事の経過、防災性の強化や景観に配慮した再開発事業等について調査しました。

【調査先】

- 『高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所』
- 『あちてらす倉敷』
- 『本州四国連絡高速道路株式会社』
- 『広島西部山系砂防事務所』



文教警察委員会（9月4日～6日）

兵庫県警察本部や広島県立広島叡智学園などを訪問し、今後実施が想定される自転車運転者講習制度や国際バカロシアプログラム等について調査しました。

【調査先】

- 『大阪市立天王寺中学校（夜間学級）』
- 『兵庫県警察本部』
- 『兵庫県立神出学園』
- 『広島県立広島叡智学園』



◎詳細はQRコードをご覧ください。

経済活性化対策特別委員会

～食と観光、農林水産業のさらなる振興と人材の確保・育成～

目的

県内延べ宿泊客数がコロナ禍前の水準に戻るなど、県経済は緩やかな回復基調にあるが、この流れを止めることなく、持続的な発展に繋ぐことが県政の最重要課題といえる。

県内では臼杵市がユネスコ食文化創造都市に認定される等、本県の強みである食や観光に国内外から注目が集まっており、農林水産業等との連携を密にし、競争力を高め、県産品の輸出や観光消費を一層拡大させる取組は、アフターコロナを見据える中で喫緊の課題であり、かつ時機を得たものといえる。人材の確保・育成策と併せこれら取組を加速化することで、経済活動の活性化や産業の基盤強化を目指す。

付託する事件

- (1) 県産品の輸出や観光消費の拡大等、競争力強化、市場開拓について
- (2) 市場ニーズにマッチした商品開発と高付加価値化について
- (3) これらの活動を支える人材の確保・育成

期間

令和5年10月4日～令和7年3月31日

委員長



いのうえ あき お
井上 明夫

副委員長



なりさこ けんじ
成迫 健児

委員



ますだ みつとく
榎田 貢



あらい けんじ
穴見 憲昭



おかの りょうこ
岡野 涼子



なかの てつろう
中野 哲朗



みやがみ こういちろう
宮成 公一郎



しゅうとう けんじ じゅう
首藤 健二郎



おがわ かつみ
小川 克己



みらい とむひろ
御手洗 朋宏



ふくざき ともゆき
福崎 智幸



にのみや けんじ
二ノ宮 健治



よしむら あきひこ
吉村 哲彦



いわた ひさこ
猿渡 久子



みやま よしのり
三浦 由紀

九州各県議会議長会議

大分県議会提案の「東九州新幹線の整備計画路線への格上げについて」など、九州の一体的浮揚を図るため、特に重要かつ緊急を要する23の事項について、九州各県議会議長会として政府等を訪問し、提言・要望活動を行いました。



市町村議会議長との意見交換会

県議会議長と市町村議会議長との意見交換会を10月30日に開催しました。「デスティネーションキャンペーンを契機とした観光振興について」の講演と県議会のデジタル化の取組に関する情報提供を行った後、「地域課題に対する議会の取組」をテーマに意見交換が行われました。市町村議会議長からは、人口減少や地域医療、議員のなり手不足に関する意見や課題解決に向け地域で話し合いの場を設ける取組について、発言がありました。



県議会ユースモニター

県議会では、これからの大分県を担う若者の意見を聴いて、県政に反映させるため、県内10名の若者を県議会ユースモニターに委嘱しました。(期間：令和5年9月～令和6年3月)

今年度は交流会やアンケート調査を実施するなど、取組を拡充して、県議会のあり方や大分県の未来について若者と一緒を考えていきます。



議員災害対応訓練

10月4日、議員の人命救助に関する基礎知識の向上やスキルアップを図るため、大分市消防局の方を招き救命講習を行いました。



政策勉強会

10月の政策勉強会では、一般社団法人九州観光機構 地域連携室の花田政年部長を講師に招き、『大分県におけるアドベンチャーツーリズムの可能性』について、ご講演をいただきました。



大分県議会公式X

(旧ツイッター) (@oitakengikai)

本会議や委員会、広報活動など、議会の活動について発信していきますので、ぜひご覧ください!



点字版・音読版「県議会おおいた」のご案内
本紙の点字版・音読版を作成配付しています。詳しくは議会事務局政策調査課まで。

表紙の題字の作成者

学校法人 大分高等学校 高橋 怜花さんの所属する書道部の様子をご紹介します!



大分高校書道部26名は、意識向上・礼儀・考動・団結を念頭に掲げ、部員同士が切磋琢磨し日々練習に励んでいます。より多くの方々に書道を身近に感じてもらう、日本の伝統文化である書道の素晴らしさを広めるために、書道パフォーマンスも行っています。パフォーマンスにより部員同士の絆が深まり、団結力を高めています。書道パフォーマンスを披露させて頂くことに感謝し、日々精進しています。

開催校募集

議員出前講座

議員が講師として学校等に出向き、県議会の仕組みや議員の活動についてわかりやすく説明します。開催を希望される際は、下記までお問い合わせください。

【問合せ先】

県議会事務局政策調査課
電話:097-506-5035

県議会タイム YouTube

YouTubeでこれまでの定例会のダイジェストをご覧いただけます。ぜひ、ご覧ください!



議会ロビー作品展示の募集

議会ロビー(県庁新館)に作品を展示してみませんか。

対象	県内在住者が作成した作品 (ただし、園児、児童、生徒、学生が作成した作品を優先する場合があります。)
展示費用	無料 (ただし、展示作品の搬出入に係る経費や、展示に必要なパネル、ケース等の準備等、展示に要する費用は全て展示される方のご負担となります。)
展示期間	最長で1ヶ月程度 展示時間:開庁日の8時30分から17時15分まで (ただし、議会のスケジュール等によっては、展示できない場合があります。)
注意事項	・展示物の搬出入、展示、取り外し等は、各自でお願いします。 ・展示物の盗難、破損等につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。 ・営利目的、公序良俗に反する等、議会棟内に展示する作品としての趣旨になじまないものは、展示をお断りする場合があります。

【お問い合わせ先】

議会事務局 総務課・総務管理班 TEL:097-506-5019

議会を傍聴されるみなさまへ

傍聴をご希望の方は、日程を確認のうえ、会議当日、議会棟1階の傍聴受付までお越しください。先着順で傍聴券を交付します。

《県議会 今後の動き》
第4回 定例会の日程(予定)

- 11月27日(月) 開会
- 12月 4日(月)~6日(水)
本会議(一般質問)
- 7日(木)~8日(金)
常任委員会
- 13日(水) 閉会

県議会ホームページでは

本会議の生中継や録画配信の他、会議録など、様々な情報を掲載しています。

◇お問い合わせは県議会事務局まで

- 【総務課】議会庶務、情報公開など
- 【議事課】本会議、常任委員会、傍聴など
- 【政策調査課】調査業務、議会広報など

TEL 097-506-5019
TEL 097-506-5022
TEL 097-506-5035

